

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	(チームでつくる介護計画とモニタリング) 現状、ご家族との面談が厳しく、電話でご家族の意向をもとに介護計画書を作成しているが、主旨の説明が不足していることで「よくわからない」とご家族からの意見があった。	計画書作成の際は、しっかりと主旨を説明し、ご家族の意向を伺い、反映する。ご家族へお渡しする計画書もご家族が見てわかりやすいよう、網掛けや太文字で表記し、添付書面にてお伝えできるようにする。	ご家族には電話連絡で伺うため、お時間をいただき、主旨をお伝えするとともに、介護に対する意向や思いを伺い、計画書に反映する。ご家族にお渡しする計画書の表記では、訂正部分や追加部分の内容を網掛け、太文字で記し、添付書類にもその旨をお伝えする。またコロナ過が落ち着いた際は家族面談を再開し、直接お話を伺う機会を設ける。	6ヶ月
2	29	(かかりつけ医の受診支援) 外部医療機関を受診の際、前回受診日からの状態の変化や生活の様子を居室担当者が担当医師、ご家族へお渡しし、受診内容をお聞きし、ケース記録に記載しているが、職員の受け取り方に違いがあり、情報の共有に繋がっていない部分がある。	職員が全ての入居者の状態が把握できるよう、情報の共有をおこなう。	受診の際に「情報提供書(仮)」に日頃の様子や担当医師に相談したい内容を記載し、通院時にご家族から担当医師に渡してもらい、担当医師から受診内容を記載していただき、それをもとに職員間で情報の共有を図る。俺までの経過も把握するため、個人のファイルで保管し、いつでも確認ができるようにする。	3ヶ月
3	14	(同業者との交流を通じた向上) 従来、県グループホーム連絡協議会の研修や会議、交換実習に参加していたが、コロナ過で同業者との交流が軽減し、グループホーム間での情報交換の機会がなくなっている。職員の交換実習では、職員のスキルアップ、サービスの質の向上にもつながる実習の為、当苑の現状しかわからない職員もいる。	県グループホーム連絡協議会開催の研修や会議(オンライン)に参加し、交流を兼ね意見交換の場を設け、サービスの質の向上に努めるようにしたい。	県グループホーム連絡協議会開催の研修や会議(オンライン)に可能な限り参加し、交流・意見交換ができるよう参加する。他施設での取り組みや現状課題等を伺うことで、自施設でも課題に合わせた取り組みに繋がられるようにする。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。